



ぐるっとマップ

No. 250 八坂の妖怪

マップ作成: NPO法人ぐるっとネットワーク大町

保存版

日本三大妖怪って何だかわかりますか? 答えは山姥・河童・天狗。八坂の伝説には三大妖怪をはじめ、さまざまな妖怪が登場します。八坂中学校では今年度、妖怪について調べたグループがありました。今回のマップでは、中学生の調べ学習の成果を元に八坂の妖怪の出没ポイントと登場する伝説を紹介します。詳しいお話は、「語り継ぐ大町の伝説」または「あづみ野大町の民話 美麻・八坂編」をご覧ください。

日本三大妖怪

山姥(山の神・山奥に住む)
人食い・里人助け・子どもを守る
白髪

河童(木の神・水辺に住む)
水を引き込む・椀貸し・薬
頭に皿・背中に甲羅・水かき

天狗(天候の神・山奥に住む)
天狗倒し・礮投げ
赤頬・高い鼻・羽・一本歯の下駄



成果発表のようす



鷹狩山の分かれた話

- 1. 神木の祟り**(辺尾・天狗)
天狗神社の栗の神木を切ると祟りがある。
- 2. 街道端の六地藏**(槍平・化け物)
街道に化け物が出るので六地藏を置いたり出なくなった。
- 3. じせ岩**(鳥立・三味線の音)
3人の瞽女(じせ・盲目の三味線弾き)が転落して死んだ岩のそばでは、三味線の音が聞こえる。

4. 鷹狩山の分かれた話(鷹狩山・山姥)

鷹狩山に住む山姥は女が嫌いだたので、大切にしていた池で女が腰巻を洗ったことに怒り、山が南北に分かれた。

5. 月の輪の宮(切久保・大蛇)

昔切久保でウツバミに会って七くなる人が増えたため、祠を建てた。祠からは月輪が浮かんで見えることから月の輪の宮と呼ばれた。

6. 相川の池の主(相川・大蛇)

かつては広い池があったが、ある時男が池の主の大蛇を打った。男は死に、池は水が引いて葦原になった。

7. お堂をつくらした木ぼこたち(藤尾・木ま)

お堂を建てる時、たくさんの木ぼこ(木で作った人形)に手伝わせて一晩で建てたという。



大姥山の金太郎伝説

8. 大姥山の金太郎伝説(大姥山・上籠・山姥)

大姥山の山姥と有明山の八面大王の子が金太郎。金太郎に困って金熊川という産湯を使った産池が上籠の大姥神社のそばにある。

9. 天狗の話(上籠・天狗)

三才の男の子がいなくなり、3日後に山から戻ってきた。天狗にさらわれたといわれている。

10. 化け猫退治(野田・化け猫)

野田の化け猫を殺したら祟りで病気になる話。

このマップでは、四季折々の地域の魅力を再発見するために、皆様から情報をいただきながら様々な切り口で紹介してまいります。
ぐるっとネットワーク大町事務局 TEL 0261-85-0556 FAX 0261-85-0557

協力: 大町市立八坂中学校 人形写真提供: もんぺの会 人形制作: 松本武子さん

11. カッパの約束(舟場・河童)

舟場のカッパは、助けてもらったお礼に欲しいものを何でも貸してくれたが、ある時借りた椀を足りないまま返すとそれきり貸してもらえなくなった。

12. 船場のキツネ(舟場・キツネ)

舟場の若者がキツネに化けられた話。



カッパの約束

※このマップは、2020年3月6日付の大糸タイムスに掲載されました。
※情報は掲載当時のものです。ご注意下さい。
※個人で楽しんでいただくためのものです。二次利用をされる場合にはご相談下さい。